# ２０２７　年度　那須赤十字病院　（病床数　４５０）【1年次】

| 受入人数 | 【1年次】1 名 |
|---|---|

| 常勤・非常勤 | 研修手当 | | | | | | 勤務時間 | 休暇 | | | | 当直/月 | 宿舎 | 社会保険・労働保険等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 基本手当 | | 賞与 | | 時間外 | 休日 | | 有給 | | 夏季 | 年末年始 | | | |
| | 1年次 | 2年次 | 1年次 | 2年次 | | | | 1年次 | 2年次 | | | | | |
| 常勤 | 400,000 | | 300,000 | | 有 | 有 | 平日8:30～17:15 | 10 | | 有 | 有 | 4 | 紹介 | 日赤健康保険組合・厚生年金・労災・雇用保険 |

○ 研修診療科（必修科目）について

| 科目 | 研修内容（手技・症例数・指導医数等） |
|---|---|
| 内科 | 呼吸器，循環器，血液，消化器，リウマチ，糖尿病・内分泌・脳神経内科、一般内科での研修。主要疾患として肺癌，心筋梗塞，心不全，肝臓癌，呼吸不全，てんかん，脳卒中，白血病，リンパ腫，糖尿病，腎不全，リウマチ，など。常勤医師数26名，うち指導医・上級医21名。<br>1年次4月～10月の7ヶ月間で、1人内科24週+救急科4週をローテートします。診療科ローテ順は1人1人病院で決めさせていただきます。 |
| 救急科 | 栃木県北部で唯一の3次救命救急センターを有している。救急部門研修における多様な患者の診療経験から，研修医は緊急性と重症度の評価，緊急処置の知識と手技，入院の要否の判断，他科医師への適切なコンサルテーションなどを習得することができる。また，ドクターカーの運用およびドクターヘリの受け入れを行っている。年間救急患者数8,962件（救急車取扱い件数4,412件），うち診療時間外6,318件(救急車取扱い件数3,177件)，1日平均24.6件(救急車取扱い件数17.3件)。常勤医師(指導医)2名。 |
| 外科 | 1年次の11月～選択可能。将来の専門性にかかわらず，日常診療で頻繁に遭遇する疾患や病態に適切な対応ができるように，外科医療チームの一員として診療に携わりながら，外科的疾患への対応，周術期管理を研修する。外科的治療の適応，有効性と限界，その手術術式を理解しながら，プライマリ・ケアの実践に必要な外科的基本手技を身につける。将来，外科系を志望する医師に対しては，これら導入的な基礎的知識や基本的手技の他，さらに簡単な手術を術者として研修する。常勤医師数９名，うち指導医数７名。 |
| 小児科 | 1年次の11月～選択可能。本プログラムは将来小児医療に携ることを目指す研修医はもとより、成人医療など他の専門分野を目指す研修医にも有意義な臨床研修を提供し、医師をめざすすべての者が小児のプライマリ・ケアを分担できる能力を獲得することを目標とする。医師数8名、うち指導医2名。 |
| 産婦人科 | 1年次の11月～選択可能。女性特有の疾患による救急医療を研修する。女性特有のプライマリ･ケアを研修する。妊産褥婦ならびに新生児の医療に必要な基本的知識を研修する。不妊治療（顕微授精等）も経験可能。婦人科疾患では、ダビンチによる手術も実施。医師数8名、うち指導医3名。 |
| 精神科 | 1年次の11月～選択可能。精神疾患患者を指導医とともに主治医として治療することにより、各科日常診療の中で遭遇することが予測される精神症状を正しく診断し、適切な治療とともに必要に応じて精神科との医療連携を図れるように、また、精神科リハビリテーションを含む地域支援体制を理解し活用できる技術を身につけることを目標とする。（当院では精神科入院は対応していないため、研修は連携施設である、大田原厚生会室井病院、医療法人社団緑会佐藤病院、獨協医科大学病院のいずれかで1ヶ月間行う。） |
| 一般外来 | 1年次では、内科研修中に並行して一般外来研修を行なう。また、2年次6月に協力施設である近隣クリニックにて地域研修を行い、ここでもクリニックにおける一般外来研修を並行して行なう。 |

必修科目の研修ができない場合、選択可能な診療科

○研修アピール

当院は1949年7月に開院し、栃木県県北最大の公的医療機関として、一般診療はもとより高度医療、救急医療、災害医療、へき地巡回診療など、地域の中核病院として役割を果たしています。さらに、2012年7月に新病院に移転して診療を開始しました。医療機器は最新の高度先端機器を導入しており、2018年よりダビンチを導入し、主に腎泌尿器外科・産婦人科・消化器外科で使用しています。第三次救命救急センター、地域周産期母子医療センター、緩和ケア病棟、感染症病棟などを有し、特色ある診療も行っています。研修医の皆さんには、充実した研修を約束します。当直については研修医による希望制で、内科系･ICU(重症)･外科系･産婦人科･小児科の5つの当直いずれかで月4回まで入れます。令和9年度4月より完全週休2日制移行に伴い、土日の救急対応については、5つの日当直のほかに、研修医日当直があり、1名必ず入っていただき、一次～三次の救急ファーストタッチを大多数経験することができ、指導医からのマンツーマンによる指導、週1回の研修医クルズスの実施等充実した環境が整っております。

○研修医からのメッセージ

当院の特徴としては、自由な雰囲気で様々な手技・経験が積めること、県北唯一の三次医療機関であること、施設が新しく設備が充実していることが挙げられます。まず、当院での研修では、とにかく手技に関して経験数積むことができます。病院の規模に対して研修医の人数が少ないため症例を取り合うことがなく、手技に関しても担当でない患者さんの分まで関わり、手を動かすことができます。もちろん、やりっぱなしではなくきちんと指導医のフィードバックを貰えるので安心です。自分のやる気次第でしっかり勉強・練習をしていけばさらにadvancedな内容も体験させてもらえる環境が整っています。次に、救急センターに集まる症例は内科系・外科系共に様々です。症例はcommonな軽症からDrカー、Drヘリで搬送されてくる重症まで幅広く、忙しいですが非常にトレーニングになります。救急に関しては、当直のほか休診日の日直に「研修医」担当があり、初診患者のファーストタッチなど、今までの研修の成果を十分に発揮できる場として、現役研修医も積極的に入っていただいています。宿日直は必ず指導医もいるため、内科系・外科系・ICU重症・小児・産科の中から入りたい日を立候補して入ることができます（月4回まで）。施設・設備の充実も大きな特徴です。指導医の先生方は皆熱心で、日常の診療でのちょっとした疑問にすぐ応えていただけます。慶應大学・獨協医科大学の医局からの派遣や自治医科大学卒の先生方が多く、後期研修を考える上でも大学の雰囲気や情報を聞いて相談する事ができます。「大学病院だと研修医も多くて中々主体的に研修できないし、でも小さすぎる病院は症例が不安、でも忙しすぎるのも少し辛い…」こんな悩みは研修先を選ぶ上で誰もが1度は感じることだと思います。当院はまさにその点で調度良いバランスの病院です。栃木の県北で目立たない地域ではありますが、恵まれた環境で研修を積める当院での研修をおすすめします。

以下、慶應義塾大学病院から研修医への注意事項

・外科研修はその他の外科系の診療科への振り替えは認めません。
・必修科目がある病院では、必ず必修科目を研修してください。振り替えは認めません。

研修実施責任者　　福島　史哉

※問い合わせ先

担当部署・担当者名：教育研修推進室・石塚未那実

住所：324-8686栃木県大田原市中田原1081-4

TEL：　0287-23-1122(代)　080-9444-4066(担当部署直通)

E-mail：　kyouiku@nasu.jrc.or.jp

# ２０２７年度　那須赤十字病院　（病床数　４５０）【２年次】

| 受入人数 | 【2年次】1 名 |
|---|---|

| 常勤・非常勤 | 研修手当 | | | | 時間外 | 休日 | 勤務時間 | 休暇 | | | | 当直/月 | 宿舎 | 社会保険・労働保険等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 基本手当 | | 賞与 | | | | | 有給 | | 夏季 | 年末年始 | | | |
| | 1年次 | 2年次 | 1年次 | 2年次 | | | | 1年次 | 2年次 | | | | | |
| 常勤 | | 450,000 | | 400000 | 有 | 有 | 平日8:30～17:15 | | 11 | 有 | 有 | 4 | 紹介 | 日赤健康保険組合・厚生年金・労災・雇用保険 |

○ 研修診療科（必修科目）について

| 科目 | 研修内容（手技・症例数・指導医数等） |
|---|---|
| 地域研修（在宅を含む） | 内科研修中に並行して一般外来研修を行なう。また、2年次6月に協力施設である近隣クリニックにて地域研修を行い、ここでもクリニックにおける一般外来研修を並行して行なう。(協力施設:下段"選択科目"参照) |
| 一般外来 | 同上。<br>希望者は2週間～1ヶ月単位で、内科も研修可能。指導医のもとで、一般外来での研修も行なう。 |
| 外科 | 将来の専門性にかかわらず，日常診療で頻繁に遭遇する疾患や病態に適切な対応ができるように，外科医療チームの一員として診療に携わりながら，外科的疾患への対応，周術期管理を研修する。外科的治療の適応，有効性と限界，その手術術式を理解しながら，プライマリ・ケアの実践に必要な外科的基本手技を身につける。将来，外科系を志望する医師に対しては，これら導入的な基礎的知識や基本的手技の他，さらに簡単な手術を術者として研修する。常勤医師数9名，うち指導医数7名。 |
| 小児科 | 本プログラムは将来小児医療に携ることを目指す研修医はもとより、成人医療など他の専門分野を目指す研修医にも有意義な臨床研修を提供し、医師をめざすすべての者が小児のプライマリ・ケアを分担できる能力を獲得することを目標とする。医師数8名、うち指導医2名。 |
| 産婦人科 | 女性特有の疾患による救急医療を研修する。女性特有のプライマリ･ケアを研修する。妊産褥婦ならびに新生児の医療に必要な基本的知識を研修する。不妊治療(顕微授精等)も経験可能。婦人科疾患では、ダビンチによる手術も実施。医師数8名、うち指導医3名。 |
| 精神科 | 精神疾患患者を指導医とともに主治医として治療することにより、各科日常診療の中で遭遇することが予測される精神症状を正しく診断し、適切な治療とともに必要に応じて精神科との医療連携を図れるように、また、精神科リハビリテーションを含む地域支援体制を理解し活用できる技術を身につけることを目標とする。(当院では精神科入院は対応していないため、研修は連携施設である、大田原厚生会室井病院、医療法人社団緑会佐藤病院、獨協医科大学病院のいずれかで1ヶ月間行う。) |
| 麻酔科 | 基本的にはプライマリ･ケアに必要な知識と技能の修得を目標とする。研修医1人に1人の臨床研修指導医がつき直接指導を行なう。1日1～2症例を割り当て、周術期管理全般を行なう。予定手術症例に対しては、術前診察･評価･麻酔計画･術後呼吸･循環管理を行なう(緊急手術も同様)。術後の集中治療は麻酔科指導医と共に参加する。また、各科主治医と相談し麻酔科指導医と共に、急性期慢性疼痛症例および終末期疼痛緩和ケアを研修する。常勤医師数7名，うち指導医数5名。 |

○ 研修のアピール

当院は1949年7月に開院し、栃木県県北最大の公的医療機関として、一般診療はもとより高度医療、救急医療、災害医療、へき地巡回診療など、地域の中核病院として役割を果たしています。さらに、2012年7月に新病院に移転して診療を開始しました。そして、完成後に建築環境総合性能評価機構によって建築総合評価を受け、病院建築物としては全国初のＳランク、つまり五つ星の認定を受けました。また、医療機器は最新の高度先端機器を導入しました。2018年よりダビンチを導入し、主に腎泌尿器外科・産婦人科・消化器外科で使用しています。第三次救命救急センター、地域周産期母子医療センター、緩和ケア病棟、感染症病棟などを有し、特色ある診療も行っています。研修医の皆さんには、充実した研修を約束します。
当院の特徴としては、自由な雰囲気で様々な手技・経験が積めること、県北唯一の三次医療機関であること、施設が新しく設備が充実していることが挙げられます。２年次では１年次よりもさらに手技に関して経験数積むことができます。救急に関しては、当直のほか休診日（日曜）の日直に「研修医」担当があり、初診患者のファーストタッチなど、今までの研修の成果を十分に発揮できる場として、現役研修医も積極的に入っていただいています。宿日直は必ず指導医もいるため、内科系・外科系・ICU重症・小児・産科の中から入りたい日を立候補して入ることができます（月4回まで）。令和9年度4月より完全週休2日制移行に伴い、土曜の日直にも「研修医」担当が新設されます。1名は必ず入っていただき、より多数の救急症例を経験することができます。病院の規模に対して研修医の人数が少ないため症例を取り合うことがなく、手技に関しても担当でない患者さんの分まで関わり、手を動かすことができます。もちろん、やりっぱなしではなくきちんと指導医のフィードバックを貰えるので安心です。自分のやる気次第でしっかり勉強・練習をしていけばさらにadvancedな内容も体験させてもらえる環境が整っています。次に、救急センターに集まる症例は内科系・外科系共に様々です。症例はcommonな軽症からDrカー、Drヘリで搬送されてくる重症まで幅広く、忙しいですが非常にトレーニングになります。一方当直は基本的に指導医の先生と一緒に入るので、一人で困ってしまったりすることもありません。施設・設備の充実も大きな特徴です。ハード面では2012年に完成したばかりの新しい病院で快適な研修生活を送ることができます。院内にはコンビニ、コーヒショップもあります。ソフト面においても指導医の先生方は皆熱心で、日常の診療でのちょっとした疑問にすぐ応えていただけます。慶應大学・獨協医科大学の医局からの派遣や自治医科大学卒の先生方が多く、後期研修を考える上でも大学の雰囲気や情報を聞いて相談する事ができます。「大学病院だと研修医も多くて中々主体的に研修できないし、でも小さすぎる病院は症例が不安、でも忙しすぎるのも少し辛い…」こんな悩みは研修先を選ぶ上で誰もが1度は感じることだと思います。当院はまさにその点で調度良いバランスの病院です。栃木の県北で目立たない地域ではありますが、県北唯一の三次救急であり、指導医が多いため1人1人に対してじっくりと指導を受けることができ、コメディカルスタッフも優しく恵まれた環境で研修を積める当院での研修をおすすめします。

○ 選択科目について（選択できる診療科）上記以外

| 整形外科 | 形成外科 | 脳神経外科 | 腎泌尿器外科 | 眼科 |
|---|---|---|---|---|
| 地域①磯医院 | 地域②小林内科外科医 | 地域③増山胃腸科クリニ | 地域④なすのクリニック | 地域⑤河島クリニック |
| 地域⑥赤羽医院 | 地域⑦阿部内科 | 地域⑧緑の杜クリニック | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 備考 | | | | |
| ・２年次も各内科を選択することは可能<br>呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・リウマチ膠原病内科・血液内科・脳神経内科・糖尿病内分泌内科<br>・地域研修は、各クリニックでは1名につき2週間まで、研修医は2週間ずつ2箇所で研修を行なう。 | | | | |

※地域研修の施設は、記載されている協力型病院の施設に限られます。


研修実施責任者　　福島　史哉

※問い合わせ先

担当部署・担当者名：教育研修推進室・石塚未那実

住所：324-8686栃木県大田原市中田原1081-4

TEL： 0287-23-1122(代)　080-9444-4066(担当部署直通)

E-mail：　kyouiku@nasu.jrc.or.jp